

News Release

2010年03月25日

ディーリンクジャパン株式会社

ISO/IEC JTC1 SC36 において D-Link アクセスポイント集中管理ソリューションで協力

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リャオ)、以下: D-Link)は、2010年3月6日(土)から2010年3月12日(金)まで開催された「ISO/IEC JTC1 SC36 Information Technology for Learning, Education, and Training」(以下 SC36)において、ディーリンクワイヤレスネットワークを提供致しました。

SC36はISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)が共同で情報技術分野の標準化を行うための組織 JTC1に属する、e-learningに関する標準化会議です。本会議は22ヶ国が加盟しており、年2回世界各地で会議が開催されています。本会議では、大阪学院大学の各会議会場にIEEE 802.11b/g 対応の無線アクセスポイントDWL-3200APを設置し合計4箇所すべての場所からインターネットにアクセスできる快適なネットワークを構築致しました。

DWL-3200AP はエンタープライズ環境に最適なパワフルで信頼性の高い屋内用無線アクセスポイントです。高スペックと豊富なセキュリティ機能、操作性のよい管理アプリケーションにより、安全性の高い無線ネットワークを提供します。さらにPower over Ethernet(PoE) 受電機能をサポートしており、電源確保の困難な場所への設置も可能で、ダイバーシティ機能を持つ高感度アンテナによる安定した通信とともに最適な無線環境の構築が実現できます。WPA/WPA2 エンタープライズ、64/128/152bit のWEP 暗号化機能、MAC アドレスフィルタリング、SSID のブローキャスト機能の無効化、マルチSSID 機能などにより機密情報の漏洩などから防衛するビジネスユースにもっとも重要な安全性を確保します。D-Link は、あらゆる種類の総合ネットワークソリューションを提供し、エントリレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、ネットワークセキュリティ等、ネットワークキングの全エリアを網羅する包括的な製品ラインを作り上げてきました。D-Link は、特にネットワークセキュリティを中心に、これらの製品をただ一緒に使用するのではなく”統合”させることを目指しています。

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダーである D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークキングの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーン IT”に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。

ISO JTC 1/SC 36 公式サイト

http://www.iso.org/iso/standards_development/technical_committees/other_bodies/iso_technical_committee.htm?commid=45392